



郡山市における 小児初期救急医療 体制の再編

2026/4/27

一般社団法人郡山医師会
一般財団法人太田総合病院
郡山市



未来に向けた小児初期救急医療体制の集約

現状

複数拠点の救急体制
郡山市休日・夜間急病センター
休日在宅当番医
(太田西ノ内病院救急外来)

課題

- ・小児科医師高齢化
 - ・成り手不足
- 小児救急医療体制の
維持が困難

持続可能な
小児初期救急医療の
実現のため

解決策

小児初期救急医療を
太田西ノ内病院
に集約

小児初期救急を集約することで・・・

- ① 受診先が分かりやすい
- ② 初めから総合病院を受診できる安心感
- ③ 安定的かつ効率的な救急体制の実現
こどもを安心して産み・育てられる環境
が整う

郡山市の将来都市像

東北の鼓動 未来を奏でる
選ばれるまち こおりやま

人が集い 安心して暮らし
未来に希望を抱ける“まち”

の実現

《スケジュール》



① 令和9(2027)年4月～

太田西ノ内病院の小児救急外来を拡充し、休日・夜間急病センター小児科機能を統合

夜間の場合

救急外来に
従事する
小児科医



従事する医師
・太田西ノ内病院
小児科医
・小児科開業医

② 令和9(2027)年4月～令和12(2030)年3月

太田西ノ内病院と小児科開業医による休日当番医制による診療体制

③ 令和12(2030)年4月～

太田西ノ内病院に小児初期救急医療を完全集約



開業医



病院

市民
(子育て家庭)

- ・ 受診先が分かりやすい
- ・ 病院で診てもらえる

子育てしやすく
安心感も向上

- ・ 休日・平日夜間診療の負担軽減
- ・ 病院との連携による医療の技能向上

- ・ 小児二次救急当番病院が重症患者に集中できる
- ・ 小児軽症者の集約による診療効率化

「選ばれるまち」 を実現

- ・ 市民が安心して暮らせる医療環境の提供
- ・ こどもを産み育てるなら郡山

行政

